

(2) 帯水層の分布

徳島平野の主な地下水は、上板町を境にして、上流の吉野町，鴨島町等には自由面地下水（A層）が、また下流部の徳島市，藍住町などにはB層によって被圧された被圧地下水（C，D層）が賦存しています。

《解説》

徳島平野では、上板町を境にして上流の吉野町，鴨島町等には地表から砂礫層が堆積します。この地層（A層）は砂利を多く含み、流動性の良い地下水を豊富に持っているため、浅井戸の利用が盛んであります。

一方、下流部の徳島市，藍住町などには地表には細かい粒子の砂やシルト質土が分布するため、地表付近の地下水は利用しにくい地質分布となっています。そのため、下流部では粘土シルト層（B層）によって被圧された被圧地下水（C，D層の砂礫層）が利用されています。

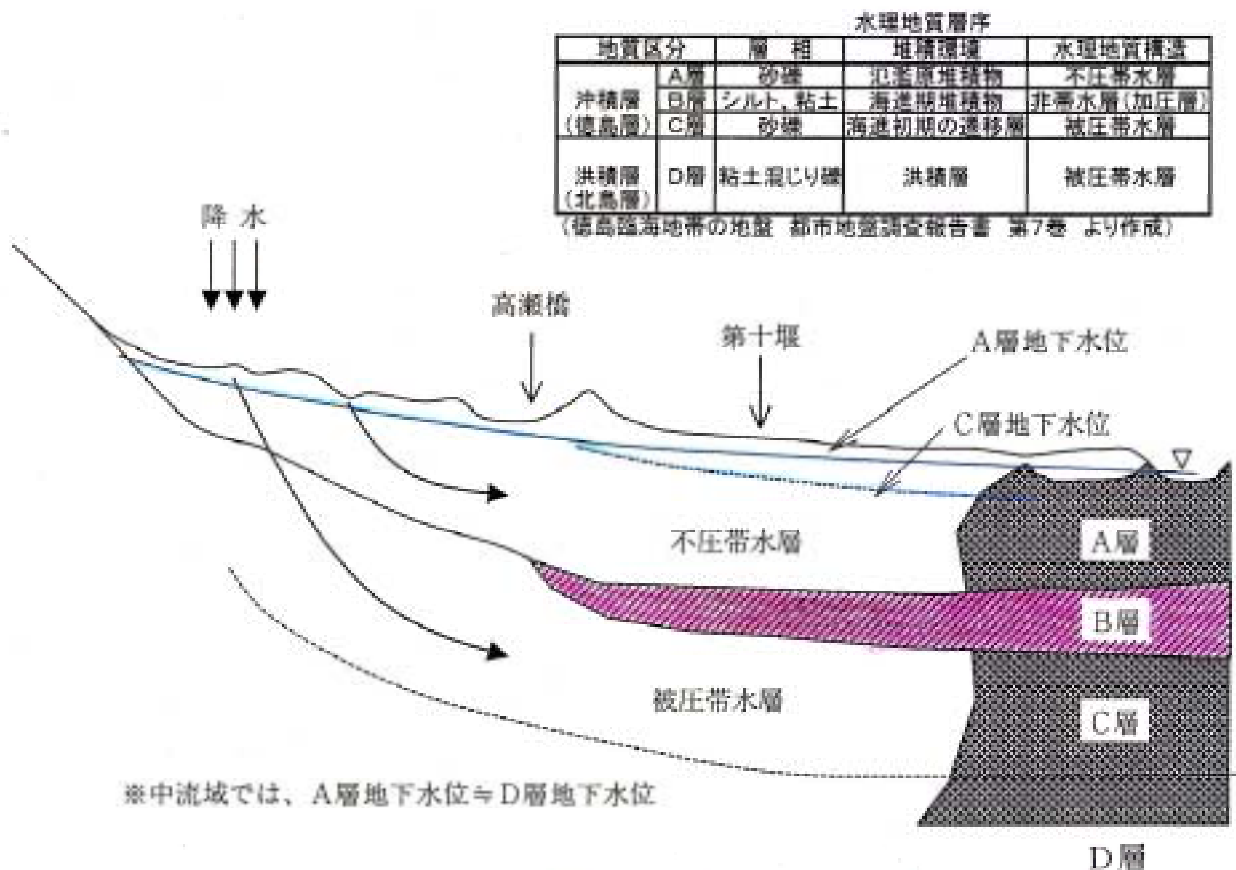


図-6.2.3 吉野川流域の水理地質模式図